

# 広報 つきがた

No. 110

昭和54年1月10日発行  
発行/新潟県月潟村役場

毎月10日発行 1部10円  
(昭和52年7月22日第三種郵便物認可)

人口動態	12月31日現在		12月中の異動	
	世帯数 807	人口総数 3,894	出生 5	転入 5
	(男 1,910 女 1,984)		死亡 2	転出 3



新しい年に願いをこめて  
1月潟・白山神社初詣で

## 新年のごあいさつ



月潟村長

金子由一郎

新年あけましておめでとうござ  
います。  
昨年の六・二六水害の際は、村  
民各位の暖かい御協力と御援助に  
より、本村は大きな被害をまぬか  
れました。遅ればせながら御礼を  
申しあげる次第です。  
村行政も、昨年々初に計画いた  
しました諸事業、即ち  
一、村史の編さん  
二、就業改善センターの建設  
三、米の生産調整  
四、農村総合整備モデル事業指定  
五、米飯給食共同調理場建設  
六、商工会館建設の助成  
七、一般農道整備事業の推進  
等々は、ほぼ目的を達成するこ  
とができました。これも関係機関  
を始め、村民の皆様のご協力のた  
まものと厚く感謝申し上げます。  
皆様もすでに御承知の通り、村  
財政の規模は小さく、この少ない  
財源を有効、適切に、しかも効率  
的に生かし、村民の福祉と健康で  
豊かな生活を営むことができる地  
域社会の形成を図ることが私に与  
えられた責務であると痛感してお  
ります。  
さて本年の目標としては  
第一に福祉社会の充実を図りたい  
老人に生きる喜びを―保育の  
充実、母子福祉、心障者に対する  
福祉対策。  
第二に生活環境の整備  
健康に対する意識の向上、病気の  
早期発見、モデル事業の一環と  
して集落道路、集落排水を整備し  
蚊、ハエのいない快適な住みよい  
村の建設。  
第三に産業、特に地域産業の振興  
農業生産においては機械化農業  
に対応し、協業化を推進し、後継  
者が喜んで定着する農村、商工会  
館を中心指導、研修の場として  
活用されることを希望し、「魅力  
ある商店街作り」と地元購買力の  
拡大を期したい。  
商工業全体としては、村と業界  
が一体となって新時代にマッチし  
た地場産業の開発  
第四に教育、文化、スポーツの振興。  
就業改善センターも七月末日に  
竣工の運びになります。公民館の  
役割を果たし、社会教育、婦人等  
の学習、研修の場所として知識の  
向上、健康増進と併せて地域連帯  
感の醸成を図りたい。  
又、野球場など、スポーツ、青  
少年の運動広場建設のため用地買  
収も考えております。  
以上、今年の抱負を述べ、皆様  
のご期待に沿うよう一生懸命に頑  
張る覚悟であります。最後に皆様  
のご健康とご発展をお祈りし、新  
年のごあいさついたします。